

PTA会報

No.58 2013.3

# 嵩山



松江東高

---

## 目次

○ P T A会長挨拶	1
○ P T A副会長挨拶	2
○ 教頭挨拶	4
○ 卒業生に贈る言葉	5
○ 後期部活動成績一覧	10
○ P T A会務報告	14
○ 編集後記	14

---





## ご挨拶

PTA会長 原田圭介

保護者の皆様には、日頃よりPTA活動にご理解、ご協力を賜り御礼申し上げます。

早いもので、卒業・進級の季節を迎えました。三年生の保護者の皆様には、お子様の進学や就職で何かと気忙しい日々が続いていることと思います。希望と夢を抱いて人生の新たなステージに向かう卒業生全員の健闘を心から祈念する次第です。

進級を控える生徒の皆さんや保護者の皆様にとって、この一年間の高校生活はどのような一年でしたでしょうか。進級を前に、勉学や部活動に励んだこの一年を振り返り、新年度に向けての新しい目標や課題を家庭で話し合う機会を持ちたいものです。

さて新年度のPTA活動は従来の活動に加えて大きなイベントが二つあります。

ひとつは七月十二日に松江市の県民会館で開催される「平成二十五年中国・四国地区高等学校PTA連合会大会島根大会」の受け入れです。

「縁(えにし)を結び絆を育む」PTAから拡がる輪「だんだん!」を大会テーマに中四国の各高校の

PTA役員の皆様と約一六〇〇名を迎えPTA活動の経験交流と研究協議をおこないます。この開催にあたり、東高PTAは受付・案内の担当となっており、当日は会員の皆様にも運営のお手伝いをお願いする予定となっています。大会成功に向けて会員の皆様のご協力をお願いします。

また、平成二十五年には「松江東高等学校創立三十周年記念事業」が実施されます。平成二十五年十月十九日(土)の記念式典・祝賀会をはじめ、記念誌発刊事業、整備事業(ランド照明増設・視聴覚室整備)などが予定されています。創立三十周年を迎えることは、創立以来の「基礎作りの時代」、「発展・飛躍の時代」を経て、伝統を育む新たな時代を迎える節目となります。この記念事業を契機に教育環境の一層の整備促進と、時代に相応しい人材の育成を目指すこととしていきます。会員の皆様には記念事業実施にあたり貴重な会費をいただいております。実りある事業となるよう、同事業実行委員会にPTA役員として参画し努力していく所存ですので、引き続きのご理解をお願い申し上げます。





## 「欧米化?」「国際化?」 やっぱりJAPAN!

PTA副会長 奥田 徳雄

日頃より本校のPTA活動につきまして、皆様方のご理解とご協力をいただき心より御礼を申し上げます。この度、教育とは全く程遠い、教育の二文字がまったく似合わない私のような人間が、PTA副会長を拝命いたしましたことについて、神様(先人)に「これを機会にいろいろなことを経験し、子どもたちと一緒に学ばせよ!」と言われているような気がしてなりません。子どもたちと一緒に私も人間として成長するよう努力してまいりたいと思います。

昨今、子どもに対する指導について様々な議論がされています。指導方針とか方法論ではなく、私は昨今の日本人は大変高度な道徳心と公共心を忘れかけているような気がしています。青少年を取り巻く様々な問題を考えた時、戦後の高度経済成長期やバブル経済期の経済優先社会に見られたような「金を持っていれば何をやっても許される!」「成績さえよければ何をやっても許される!」「自分さえよければ他人はどうでもよい!」といった自己中心的思考がその起因となっているのではな

いか、また、個人の問題にとどまらず、集团的風潮となつて倫理観を無視した事件や事故が発生しているのではないかという気がしてなりません。今も昔も子どもたちは自分の将来について不安を持ち悩んでいます。私たちが子どもたちに対して耳を傾け一緒に考えて、色々な事を経験していかないと自分の進む道は見当たらなと思います。そして人間として守るべき社会のルール、最低限のマナーを身につけることは当たり前なことであり、子どもたちがより良い環境で学校生活を送れるように、保護者として支え協力していこうと考えております。昨年末には政権交代があり不況と呼ばれる今、私たちの生活がどのように改善されるのか分かりませんが、子どもたちを取り巻く環境をより一層良いものとしていけるように学校と協議し取り組んでいきたいと思ひます。さて、表題にも記した「欧米化?」「国際化?」とは、昨今、若者がやたらと意味不明の略語や不適切かつ失礼な言葉を使つており、大人まで影響されている社会現象があることによりです。公務

員や民間上場企業の採用試験は、当たり前のように英語が必須でしたが、今年度島根県では英語力を採用の条件に加える民間企業が二社ありました。また、健全なドキュメント番組がある一方で、明らかに視聴率獲得目的の低俗なバラエティ番組があり、その中で使われている日本語とも英語とも取れないわけのわからない略語や、言葉でないような言葉が頻繁に飛び交う場面を見聞きするにつけ、短い言葉の中にも自然や感情を表現する日本文化の象徴でもあり美しさであった日本語はいったいどこに行つてしまつたのだろうかと思うことが多々ありました。このように、言葉一つとっても、若者を取り巻く環境は確実に欧米化?に進んでいると言えます。決して国際化が悪いわけではありませんが、その時々、場面にふさわしい言葉を使つて適切な表現をしてもらいたいと思ひます。親による読み聞かせや、昔語りを聞いて美しい言葉を知り、適切な言葉遣いを身につけた自分たちの原点を思い出してはどうだろうか?と思う時があります。「美しい日本語」とは日本の文化でもあると思ひます。

二〇一一年三月十一日に起きた東日本大震災の直後の三月二十六日付ニューヨークタイムズ紙で、被災された方たちのことを「混乱の中の秩序と礼節、悲劇に直面しても冷静さと自己犠牲の気持ちを支われない、静かな勇敢さ」と称賛しています。これはニューヨークタイムズ紙だけのことで

はありません。あれだけの大災害に遭いながらも自分の事より他人を思いやる被災者の態度や行動を、世界中のマスメディアが褒め称えています。また普段は反日的な記事しか書かない中国、韓国メディアも、この時ばかりは日本人の落ち着いた対応を評価する記事を掲載したと聞いています。我々日本人にとって「困った時に助け合うのは当たり前」という考え方は幼いころから教えられていることで、それは日本人が長い歴史の中で培ってきた精神ではないかと思えます。「美しい日本の言葉」と「美しい日本の伝統と文化」を忘れてはならないと思えます。

さて、話も終わりに近づいてきました。そこで生徒のみなさんにひとこと。「試験は誰の為に？自分の為にあるのだ！試験というものは常に結果がついてくるものである、良かった時には素直に喜びさらに努力をしなければならぬ。悪かった時には今以上に頑張れば良い、失敗を恐れず失敗を活かすことが大切！ただそれだけ！そして全てにおいて戦いは勝たなければならぬ、勝つためには自分の弱点を知り尽くすことだ！そうしてこそ戦いに勝てるのだ！」。どうか頑張ってください。

次に保護者の方々にもひとこと。「私たちは、親として、長期的展望に立って子どもたちを見守っていかねばなりません。子どもたちは次世代を担っていく大事な宝物です。日本の未来の為に

も子どもたちにエールを送ってやりましょう！」この度、私のような者が諸先輩、また有識者の方々を差し置いて、このような機会を与えて頂きましたことを感謝すると共に心からお礼を申し上げます。今年一年が会員の皆様を始め松江東高校にとって素晴らしい一年になりますように心からお祈りを申し上げます。





# さようなら、そしてこんにちは

教頭 吉田 彰 二

いよいよ卒業です。卒業する君たちや保護者の皆さんにはそれぞれの熱い思いがあることでしよう。送り出す教職員にも、一緒に学校生活を送った日々を顧みて、様々なものがこみ上げてくるものです。

卒業式では、生徒からは「先生お世話になりました、お元気で。さようなら。また会いましょう。」、教職員からは「元気でな。良くがんばった。また遊びに来いよ。」などの言葉がよく交わされます。お互い名残を惜しみつつ別れを惜しむ光景は、毎年繰り返されますが、何度見ても良いものです。哀しくもありほほえましくもある学園生活の一幕です。

卒業式は別れがあるので「さようなら」が相応しいかもしれませんが、私には証書の授与を終えて退場する生徒の姿を見ると、心の中でつぶやきたくなる言葉があります。それは「こんにちは」です。巣立って行く生徒たちに対し何故「こんにちは」なのかというと、巣立つのはこの学校であつて、巣立って行く先は我々がいる大人の社会だからです。新しい社会を切り開いていく仲間として、ともに課題を乗り越えていく仲間として、将来我々を支えてくれる仲間として君たちを迎え入れたい、そんな思いを強く感じるのです。ビートルズはその歌 HELLO,GOODBYE をうたっています。

…You say goodbye and I say hello. I don't know why you say goodbye, I say Hello. …

これからは同じ空気を吸い同じ時代を共に生きる仲間として助け合い、幸福な社会づくりをしていきましよう。今後は、ひとりひとりがどんな思いをもって暮らしていくかが大切になります。

今年の正月、以前私の勤務していた学校の卒業生が十一年ぶりに学年同窓会を企画し、そこに招待されました。過去のアルバムを眺めたり、名簿を見たりして当時のことを思い巡らしていました。その中に、私が担任したクラスの学級通信を見つけてきましたのでその一部を紹介します。

(学級通信第1号4/8)

自分のしたことに感動できる一年に

人は感動体験を重ねて成長していく

標題を担任のクラス開きの第一声とさしてもらいます。

人は、成長に伴って次のような体験をしていくのではないかと思っています。

①人に感動させられる→②自分のしたこと  
に感動する→③人を感動させる

感動する体験を持つことは、精神的な充実感が得られ、次の行動への意欲の源となります。③の人を感動させるとは、人の心を豊かにし幸せにすることです。これは多くの場合、直接または間接に仕事を通して行なわれていることではないかと思っています。

三年生である皆さんの今年一年の課題は、「自分のしたこと」に感動する体験(努力のあとの感動体験)を持つことです。部活、学園祭、進路実現とチャンスもたつぷりあります。人に感動させられた体験は、多くの人が持っているでしょうが、感動は自らが作り出すものでもあることをこの機会に知っておいてほしいと思います(深い楽しさ、面白さはそこから生まれるのですから)。

このような体験をできるだけでもらうのが、今年の私(担任)の役目かななどと考えております。……(あと略)

これは、担任する高校三年生に向けて話したことです。ので、生徒には②「自分のしたことに感動する」を要求しています。高校を卒業する皆さんには、次の段階③「人を感動させる」を目指して歩んでほしいと思います。「人を感動させる」というおかげさな事でも良いです。人に手を貸す、人の心を豊かな気持ちにさせる、人が生活しやすいようにするなど、自己に向けられていたベクトルを少しずつ他人に向けるといふことです。GOODBYE,HELLO. 卒業おめでとうございませう。手を取り合って、一緒に歩みましょう。

# 卒業生に贈る言葉

担任・副担任・学年付の

先生方より



31 R担任 竹田 育子

二十八期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます！

私が皆さんと、担任または授業担当者として関わったのは昨年の四月からでした。最初の学年集会で皆さんの話を聴く姿勢の素晴らしさに感心したことを良く覚えています。あつという間に一年が過ぎて、皆さんの旅立ちの日が来ました。一年という短い間でしたが、私は皆さんの成長を見ることができました。苦しかったことも悲しかったことも、嬉しかったこともあった年だと思えます。これから皆さんは新たな一歩を踏み出して行くのですが、時間は限りあるものだということを念頭において、本当に大切なことは何なのかを日々考えてこれからの人生を送ってほしいと思います。こんな話を十年前に聞いたことがあります。

もし、自分の銀行口座に毎日〇時に、八六四〇〇円入金され、自由に使つてよい。但し、貯金はできず、使いきれないと残ったお金は全部消えてしま

まうなら、全部おろして真剣に使い方を考えるではないでしょうか？私達は、毎日八六四〇〇秒という時間が与えられています。でも、それを使わなければ失います。時間を貯めておくことはできないのです。

皆さんが、賢く人生を歩んでいくことができま

すように！  
笑顔&ユーモアを忘れずにお元気で！

## 贈る言葉



32 R担任 佐藤 剛

三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。

私はバスケットボールの指導をしていて、どうすれば生徒が試合の中で自分の力を発揮できるのかを考え続けてきました。全国大会を観戦すると一流の選手は一目見ただけでも「オーラ」があるなあと感じるがあります。そして試合の中でいとも簡単に自分の力を出します。この「オーラ」ってなんだろう？というのが長年の疑問でした。



33 R担任 岡藤 大輔

卒業おめでとうございます。

三年前に入学してきた君たちのあどけない顔を今でもはつきりと憶えています。三年経った今、君たちの見違える程の成長ぶりに驚きとともに頼もしさを感じています。これから新しい場所での

チャレンジが待っています。失敗を恐れず、信念を持って歩んで欲しいと思います。

「八風不動」という言葉があります。これは仏教の言葉で、人生では、万事好調をもたらす「利益風」、その反対に不調ばかり続く「衰風」、陰で悪口を言われる「毀風」、面と向かって悪口を言われる「譏風」、陰でほめてくれる「誉風」、面と向かってほめる「称風」、苦しい目にあう「苦風」、喜びにあう「楽風」の八つの風が吹くと言われています。人生はいつでもどんな風が吹くかわかりません。どんな風が吹いても柳の木のように、さらりと身をかわしながら、しっかりと大地に根を張って倒れずに生きて行けという意味の言葉です。東高で張った根をさらに大きく成長させてくれることを期待しています。また顔見せに来いよ！

## 贈る言葉



34 R担任 持田綾子

P.T.A会報に卒業生へのメッセージを依頼され、原稿を書いている今日は、二月十三日。(締め切りを守れず申し訳ありません)後期講座まっただ中、小論文などの添削も山積み。ふと考えると、卒業式までもう二十日あまりになっていた。

二十八期生と共に、全力疾走してきた三年間だった。

明るく、素直で、バイタリテイにあふれるかわいい生徒たちと。

一年生 鳥取砂丘への遠足 スキー実習

二年生 何年ぶりの複数候補による生徒会長

選挙

全面的に企画運営した東雲祭(RUN、

RUN、RUN)

部活動引き継ぎ

三年生 東雲祭(体育祭)の応援合戦、デコの

制作

受験体制に突入！ 戦いは、継続中！

この三年間で、君たちには「最後の最後まであきらめずに努力する力」がついている。受験勉強は辛かっただろうけれど、ここで頑張ったこと、苦労したことがきつと将来君たちの力になるはず。さあ、新たな旅立ちだ。

気合い入れて、顔を上げて、胸を張って歩いて行け。



35 R担任 足立みどり

三年前の入学式の日のことをはつきりと覚えています。不安と決意のまなざしで担任の岡田先生の話を生懸命聞いていた11Rのみなさんの姿が今でも焼きついています。月日は流れ、いよいよ卒業の日を迎えました。今のみなさんの顔は三年前の顔とは全く違います。それぞれに乗り越えてきたものがある人の顔になっていると感じます。

そして私もさまざまに乗り越えることがありましたが、素直で無邪気なみなさんと、「共に歩き、共に探し、共に笑い、共に感じ、共に選り、共に迷い、共に願い」合えたことは本当に幸せだったと、今心から思っています。(「」はコブクロの歌詞より)

明日からはそれぞれの道での学びが始まります。奥が深く、終わりが無いように思えるかもしれませんが、どうか生涯をかけて学び続けてください。そして自分が置かれた場所で精一杯生きていってほしいと願っています。

「小さきは小さきままに 折れたるは折れたるままに 咲くコスモスの花」  
卒業おめでとう。いつまでも応援しています。



36 R担任 大塚敬之

卒業おめでとうございます。

これから人生を切り拓いていく皆さんは、心の中にそれぞれの理想を描いているに違いありません。使命感に満ちた弁護士、世界を股にかける企業戦士、心優しき保育士等々……。ぜひ、その理想に一步でも近づくと成長を続けて欲しいと思います。

ただ、その中で、自分の「今のままでいい」部分を大切に持ち続けて下さい。それは、この島根で、この松江で、そして保護者の無償の愛情で育まれた大切なものだからです。そして、それはきつ



とこの世の中で最も必要とされ、人を幸せにできるものだと思います。

大人になってもどきまぎしたっていいんだな

ぎこちない挨拶 醜く赤くなる

失語症 なめらかでないしぐさ

子供の悪態にさえ傷ついてしまう

頼りない生牡蠣のような感受性

それらを鍛える必要は少しもなかったのだな

年老いても咲きたての薔薇 柔らかく

外にむかってひらかれるのこそ難しい

あらゆる仕事

すべてのいい仕事の核には

震える弱いアンテナが、隠されている きつと…

(茨木のり子「汲む」より)

これから出会う無数の「思い」を「汲み」で、  
マイペースで…。心から健闘を祈ります。

## 卒業生へ送るメッセージ

31 R 副担任 福田 貴子

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。  
私は皆さんと共に東高に入り、三年間を過ごしました。私にとってはあっといふ間の三年間でしたが、皆さんにとってはどうだったでしょうか。「高校生って忙しいですね…」とつぶやきながら一生懸命に高校生活に慣れようと努力した一年生、

生徒会や部活動の中心となって活躍した二年生、  
そして、次のステップへ向かって勉学に励んだ三年生。友達も増えて、たくさんの思い出ができたことでしょう。

さて、いよいよ旅立ちの時。決意新たにそれぞれの道へ進んでいきましょう。

元気で頑張ってください！

## 贈ることば

32 R 副担任 山内 竜夫

二十八期生のみなさんとは短いつきあいでしたが、私が東高に来て以来五年間で最も気持のよい学年でした。まじめに物事に取り組み、互いを思いやり、時に弱くて脆い一面を覗かせながらも、みんな支え合ってきた三年間だったと思います。みなさんの最後の一年に関われたことを心から誇りに思います。みなさんの夢はどこまでも続いています。みなさんより三十年以上長く生き続けてきた私は、今自分の夢が見果てぬ夢だと悟らなければならぬ日が一日も遠かれと祈りつつ、毎日をおくっています。みなさんは、みなさんの夢はどこまで大きく広がって行くのかを楽しみに、ご活躍ください。たまには立ち止まったり、振り返ったりすることも必要です。もし、道を見失いかけたら、いつでも東高に立ち寄ってください。東高はいつでも、みなさんを暖かく迎え入れて背中を押し続けます。その日までお元気で。

## Bon Voyage!

33 R 副担任 福田 由美子

ある日の終礼の始まる前

「黒板消しのクリーナーが粉をよくすつていません。」

二人の生徒が奮闘していました。二台のクリーナーのフィルターをどちらをきれいにしてもなお調子が悪いようです。

「壊れていると岡藤先生に言うしかない。」と私。「自分たちで考えるように言われています。」

なるほど、この姿勢がこのクラスの強さの素だと再認識しました。頑張り屋だし、明るく、delightful 33 R。これからも充実した人生を！

## 感謝の心を忘れずに。

34 R 副担任 足立 育美

私は高校卒業後、大阪の大学に進学、同時に一人暮らしを始めました。当初は本当に不安で心細かったです。大学から自宅までの帰り道、突然雨が降ってきたことがあります。そのとき傘を持っておらず、ずぶ濡れになりながら歩いていた田舎娘を不憫に思ったのでしょうか。通りすがりのおじいさんがサッと自分の傘を差し出して下さいました。なにわ人情とやりに触れてしまった瞬間で

した。

皆さんも高校卒業後は新しい環境での生活がスタートすることと思います。親元を離れる人、ひょっとしたら日本を離れ海外に行く人もあるかもしれませんがね。しかしどこにいても、親切な人、皆さんを支えてくれる人が必ずいるものです。そういった方々へ感謝する心を忘れずこれからも頑張ってください。ご卒業、本当におめでとう。

## 卒業生の皆さんへ

35 R 副担任 宮田孝之

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。一年前に本校に赴任してきて、この一年間、次のことが印象に残りました。一つは、授業中でのひたむきさです。こちらも、それに応えるために少しでもさらに工夫を加えなければと思いました。二つめは、体育祭における見事な応援です。過去に勤務した学校でも素晴らしい応援がありました。皆さんは、皆さんのパフォーマンスは圧巻であったと思います。最後にになりましたが、今後の皆さんのご多幸を願っています。

## 卒業おめでとう

36 R 副担任 有藤克巳

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございませう。この三年間、みなさんは、勉強や部活動などいろいろなことで、目標に向かって一生懸命がんばってきたと思います。「夢は叶えられる」と人はよく言います。でも世の中そう簡単なものではないと感じたことも多いと思います。確かにそうかも知れませんが、しかし叶えられなくても、努力して頑張った分、成長しているはずですよ。自信を持って、自分の決めた道を進んでください。

それから、「あなた」は世の中に「あなた」しかいません。「あなた」に変わるものも決してありません。あなたらしくあなたにしかできないことがきつとあります。最後に、何をすることも身体が一番の資本です。健康に気をつけて。ファイト！

## 卒業生への言葉

学年付 木原和典

会社での人材を育てる際に、社員の長所を伸ばすように育成した場合と、短所を是正するように育成した場合に、どちらがより良い人材が育つかという議論があります。

結論からいうと、長所を伸ばす育成法の方が、短所を是正する育成法よりもより優れた育成法であることが確認されています。

みなさんはこれまで「不得意科目を克服する」ことや「苦手なものを得意にする」ことにかんがいのエネルギーを注いできたのではないかと思います。

もちろんそれは大切なことなのですが、これからは、みなさんの長所や得意なことにもっと目を向けていった方が良いのではないかと思います。みなさんのこれからの人生が、明るく輝かしいものになることを祈っています。

卒業おめでとう。

## 「旅立ちにあたり」

学年付 松浦辰彦

卒業おめでとうございませう。旅立つ君たちに今年も歌で送ります。

「わたしの瞳が濡れているのは涙なんかじゃないわ泣いたりしない」松山千春です。三十八年前教員になった時、隠岐高（剣道部）の卒業生が別の会でギターを弾きながらステージで歌ったものです。なぜだかこの歌を思い出しました。今年卒業アルバムを購入しました。私も教員生活に一応区切りをつける年になります。いつもと違う気持ちで君たちを送りたいと思います。

「あなたがそこに ただいるだけで

その場の空気が明るくなる  
あなたがそこに ただいるだけで

みんなの心がやすらぐ

そんなあなたにわたしもなりたい

## ささやかな幸せに関する一考察

学年付 松本 学

この物語はあくまでもフィクションです。

昔々、あるところに、シャイでおとなしく内気な高校生がいました。好きな娘にも好きと言えず、話したり笑顔を見たりするだけでささやかな幸せを感じて暮らしていました。

卒業式の日のこと、LHRも終わり帰ろうとしていたところ、その好きな娘が走り寄ってきた。

「一緒に写真撮ろ〜よ〜」

そりゃもうカーニバルです。頭の中ではサンバのリズムが流れています。しかしそこは落ち着いて、

「ああ、いいよ。」

そっけないです。超うれしくせにそれは顔に出しません。一緒に写真を撮り、帰ろうとすると……

「購買行こっ」

何が起きてるんでしょうか？なんかフラグ立ちます？もう頭の中のカーニバルは最高潮！ささやかな幸せの絶頂です。二人で教室を出ると、

「おいっ、ちよつと職員室来い。」

階段の上から生物の先生の悪魔の声……

は？なに？俺？職員室ってなに？連行されていく男子高校生の背中の中は、女の子が別の男子を誘って購買へ向かって行きました。

卒業おめでとう。いいか、ささやかな幸せなんでものはこの世に存在しない！大いに幸せになってくれ。そして、幸せにしてあげてくれ。

## 「ウクイウタ（贈る詩）」

学年付 渡邊 涉

卒業おめでとう。新しい世界へと歩む君たちへ、ちよつとだけ私の昔話を。

沖繩で過ごした7年間は、時給六〇〇円からのスタート。正社員・バイト・学生の三足のわらじを履く日々。そんな中、貯金をはたいて手に入れた「三線」。三線を担ぎ、勇気を出して飛び込んだのは：公民館の庭先に集まるおじい、おばあの飲み会。「島唄を教えてください！」

格好悪くても下手くそでも「好きなものは、好き！」と言おう。周りにいる誰かが、もつと楽しんでもらいたいと思って、さらなる出会いやチャンスを送り届けてくれます。あの頃のはるか延長線上に、君たちとの三年間が待っていました。

一日に一度の笑顔を大切に。チバリヨ〜！

『諦めたりすんなよ まだまだまだいけるだろう

お前の背中を見守っているヤツが必ずいるから 上手くいったらきつと ここに帰ってこいよ

いつもの店で 時間が過ぎるのも忘れて飲みみかしてやろう

今は遙か 離れた街 でも確かな絆がここにある  
いつまでも いつの日にも お前のその背中に  
歌い続けよう』

(かりゆし58「ウクイウタ」)



# 平成24年度後期部活動成績

## アーチエリー

### 《県秋季大会》

少年女子シングル	1位	田中沙弥
	2位	寺本万由奈
	3位	戸島菜月
少年男子シングル	2位	堀江雄二
	3位	井塚智士
少年女子30mW	1位	村竹菜々瀬
	2位	金山奈津子
	3位	佐々木愛美
少年男子30mW	1位	奈良井敦
	2位	杉原裕太郎

## ソフトテニス

### 《国体予選》

女子個人	中井里咲・生和じゅん組	一回戦敗退
	間賀部千秋・山本結菜組	一回戦敗退
	三代真実・北野未侑組	二回戦敗退
男子個人	持田尚宏・山本亮平組	一回戦敗退
	鷲見和朗・春名雄太組	三回戦敗退
	(ベスト32)	
	坂下有哉・太田裕也組	一回戦敗退
	安部遼人・寺田拓人組	一回戦敗退
	有田 航・門脇守俊組	一回戦敗退

### 《中国大会》

男子個人	佐藤史弥・谷浦禎紀組	二回戦敗退
	大島拓実・前川 勇組	二回戦敗退

### 《県新人戦》

女子個人	中井里咲・生和じゅん組	一回戦敗退
	間賀部千秋・山本結菜組	二回戦敗退
	三代真実・北野未侑組	三回戦敗退
	(ベスト32)	
男子個人	安部遼人・谷浦禎紀組	二回戦敗退
	佐藤史弥・瀬尾哲組	二回戦敗退
	坂下有哉・太田裕也組	三回戦敗退
	持田尚宏・山本亮平組	三回戦敗退
	鷲見和朗・春名雄太組	三回戦敗退
	寺田拓人・門脇守俊組	四回戦敗退
	(ベスト16)	

### 女子団体

一回戦	2-1	三刀屋
二回戦	1-2	出雲(二回戦敗退)

### 男子団体

一回戦	1-2	松江南
-----	-----	-----

### 《県高校インドア選手権大会》

女子個人	持田尚宏・山本亮平組	一回戦敗退
	三代真実・北野未侑組	一回戦敗退
男子個人	寺田拓人・門脇守俊組	一回戦敗退

### 《ジャパンカップ県最終予選》

女子個人	持田尚宏・山本亮平組	一回戦敗退
	三代真実・北野未侑組	一回戦敗退
男子個人	寺田拓人・門脇守俊組	一回戦敗退

## テニス

### 《県新人戦松江地区予選》

女子 シングルス	岸本梨沙	8位
	横野姫奈	16位
ダブルス	堀江・鵜飼	7位
	岸本・細田	8位
	安戸・榎野	11位
男子 シングルス	竹内尚弘	ベスト8
	安部貴之	ベスト16
ダブルス	小谷・竹内	ベスト4

### 《県新人戦》

女子 シングルス	堀江涼子	ベスト8
	岸本梨沙	ベスト32
	鵜飼莉奈	ベスト32
男子 シングルス	小谷知広	ベスト8
	竹内尚弘	ベスト16
	安部貴之	ベスト32
ダブルス	小谷・竹内	3位

### 女子団体 第4位

### 男子団体 一回戦敗退

女子 シングルス	堀江涼子	一回戦敗退
	小谷知広	一回戦敗退
	竹内尚弘	一回戦敗退
ダブルス	小谷・竹内	一回戦敗退

### 《中国新人戦》

女子 シングルス	堀江涼子	一回戦敗退
	小谷知広	一回戦敗退
	竹内尚弘	一回戦敗退
ダブルス	小谷・竹内	一回戦敗退

# バスケットボール

## 《県選手権》

女子 3位

二回戦	100	52	松江市女
三回戦	102	38	松江北
準々決勝	65	44	松江西
準決勝	57	61	松江商業
ベスト5賞			横田真凜

男子 2位

一回戦	127	55	立正大淞南
二回戦	141	12	島根中央
準々決勝	92	52	松江工業
準決勝	101	79	松江商業
決勝	68	87	出雲北陵
ベスト5賞			永瀬 真

## 《県新人戦》

女子 1位

二回戦	63	39	松徳学院
準々決勝	69	38	明誠
準決勝	75	47	出雲
決勝	78	72	松江商業
ベスト5賞			坂田菜里・岡坂里菜

男子 2位

一回戦	105	53	大田
二回戦	107	47	松江南
準々決勝	104	42	矢上
準決勝	83	57	出雲北陵
決勝	87	93	松江西
ベスト5賞			永瀬 真

## 《中国新人大会》

女子 3位

一回戦	84	62	米子西
準々決勝	69	65	県立広島商業
準決勝	66	70	慶進
一回戦	61	77	玉野光南

男子

# バドミントン

## 《県選手権》

個人 女子ダブルス ベスト16

女子ダブルス	ベスト16	小澤木ノ実・濱田美菜
女子シングルス	ベスト32	小澤木ノ実

## 《県新人戦》

学校対抗戦 女子一回戦 2-3 隠岐  
個人 女子ダブルス ベスト32

小澤木ノ実・濱田美菜
寺本紗恵・末次成美

# バレーボール

## 《県選手権兼全日本バレーボール

### 高等学校選手権大会県予選大会》

2-0	益田
2-0	吉賀
0-2	江津

ベスト8

## 《県新人戦》

予選グループ戦

2-0	飯南
2-0	浜田

2ブロック リーグ戦 1-2 石見智翠館

2-0 三刀屋

0-2 安来

順位決定リーグ 0-2 江津

0-2 松江農林

0-2 大社

第6位

# ハンドボール

## 《高等学校ハンドボール選手権大会

### 兼中国高等学校ハンドボール新人大会県予選》

女子 準決勝 13-19 松江市女  
3位決定戦 13-10 江津

※総合第3位

男子 一回戦 21-15 飯南

準決勝戦 24-28 江津

3位決定戦 15-16 松江高専

※総合第4位

# ボート

## 《県新人戦》

女子舵手付きクオドルプル

(筒井・松本・河野・中山・渡部) 1位

女子ダブルスカル(今岡・二村) 2位

男子舵手付きクオドルプルA

(安部・星野・杉森・田中・浦部) 2位

男子舵手付きクオドルプルB

(花井・嘉本・佐々木・中村・寺田) 予選敗退

男子ダブルスカルA(星野・田中) 2位

男子ダブルスカルB(門脇・奥山) 3位

男子シングルスカル(浦部) 2位

《選抜中国予選》

女子舵手付きクオドルプル  
(筒井・松本・河野・中山・渡部) 4位

サッカー

《県選手権》

1回戦 0-1 石見智翠館

《県新人戦》

1回戦 3-0 出雲北陵

2回戦 0-0 開星

(PK1-4)

弓道

《県新人戦》

女子団体(来待、山本、桃井、岸根、笠原)

予選20射中4中 敗退

男子団体(長澤、大江、永田、鶴原、大谷)

予選20射中6中 敗退

《選手権兼全国選抜大会県予選》

兼中国新人大会県予選

女子団体(来待、桃井、笠原、山本)

予選36射中10中 敗退

男子団体(長澤、鶴原、大谷、大江)

予選36射中15中 敗退

《第4回松江市雛菊大会》

男子団体(鶴原、長澤、大谷)

36射中24中 優勝

男子個人 大谷颯 第四位

剣道

《県選手権大会》

女子団体 一回戦 対 島根中央 大将戦

二回戦 対 大田 一人残し

準決勝 対 大社 三人残し

3位

男子団体 二回戦 対 益田東 野津、五人抜き

三回戦 対 出雲商業 三人残し

準決勝 対 松江南 二人残し

決勝 対 大社 大将戦

優勝

個人戦

女子 竹下 ベスト16

男子 水凌 優勝 小鹿 3位

野津・飯塚 ベスト16

《新人戦兼中国新人兼全国選抜予選大会》

女子団体 二回戦 対 矢上 1-2負け

男子団体 二回戦 対 益田東 5-0勝ち

三回戦 対 松高専 3-0勝ち

準決勝 対 出雲商 3-0勝ち

決勝 対 大社 1-1

代表戦 負け

個人戦

女子 竹下 ベスト8 江戸 ベスト16

男子 水凌 3位 野津・安達・小鹿ベスト16

※中国大会出場権

女子個人 竹下

男子個人 水凌

男子団体

卓球

《県高校選手権》

女子ダブルス 三回戦敗退

女子シングルス 栗原沙瑛 ベスト64

男子ダブルス 三回戦敗退

男子シングルス 三回戦敗退

《県新人大会》

女子団体 予選一次リーグ敗退

女子シングルス 栗原沙瑛 ベスト32

男子団体 予選一次リーグ敗退

男子シングルス 二回戦敗退

陸上

《県新人戦》

1年生100M 男子 3位 足立祥史

野球

《島根県高等学校春季野球大会東部地区予選》

二回戦 2-4 安来

《松江地区高等学校野球大会》

優勝

一回戦 4-2 情報科学

二回戦 13-3 隠岐

準決勝 9-2 松江北

決勝 8-6 立正大浜南

《第93回全国高等学校野球選手権島根大会》

一回戦 1-2 出雲

《島根県高等学校秋季野球大会》

一回戦 1-2 益田翔陽

## 吹奏楽

第21回出雲ドーム二〇〇〇人の吹奏楽 参加

9月8日(土) 出雲ドーム

朝酌公民館クリスマスコンサート 出演

12月8日(日) 朝酌小学校

第36回全日本アンサンブルコンテスト島根県大会

12月23日(日) 浜田市・石史文化会館

フルート4重奏 金賞

打楽器8重奏 銀賞

しまねシンフォネット高校オーケストラ

第13回定期演奏会 出演

2月2日(土) プラバホール

## 弦楽

島根県中学・高校弦楽クラブ合同演奏会 出演

10月8日(土) プラバホール

しまねシンフォネット高校オーケストラ

第13回定期演奏会 出演

2月2日(土) プラバホール



## 書道

川津小学校PTA主催イベント「川津小ファミリーフェスタ」にて書道パフォーマンス披露

島根県高校書道展

奨励賞 渡部菜央

高校生書道パフォーマンス2013

(平成25年1月3日・イオン松江ショッピングセンター)

ンター)

## 美術

第36回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門参加

(絵画) 題名「Dog」並河真太郎

第45回県高校美術展 12/14~17

絵画の部 入選作品二十一点

足立麻由香 山内 モモ 広戸あゆみ

八尾佳名子 三成 春菜 鈴木 弘明

渡部ありさ 野津 光平 中澤 愛里

岸本 早代 島田みずき

デザイン・立体の部 入選作品一点

中澤愛里

第55回中国四国高等学校PTA 連合会大会島根大会

シンボルマーク

優秀賞 山内もも 八尾佳名子

入選 岸本早代 足立麻由香 渡部ありさ

鈴木弘明

平成24年度読書感想画県コンクール

優秀賞 八尾佳名子 鈴木弘明

優良賞 島田みずき 岸本早代

## 文化創造

【放送部門】

第36回全国高等学校総合文化祭

オーデオピクチャー部門 出場

第16回県高等学校総合文化祭

オーデオピクチャー部門 最優秀

(次年度全国総合文化祭進出)

【演劇部門】

松江地区演劇発表会

「Gamer in Wonderland」川上碧作 優良賞

【文芸部門】

平成24年度高文連文学専門部県コンクール

詩部門 溝邊 廉 優秀作3位(1点)

第27回全国高等学校文芸コンクール 出品

詩部門 谷本 旭 優良作 (2点)

## 自然科学

県高文連自然科学部門実験・観察研修会 参加

県高文連自然科学部門研究発表会 参加

展示発表

「最適な米のコーティングは何か」

野津 光 優秀賞

「紙作り」 今尾匡志 鈴木飛翔 優良賞



# P T A 会務報告

平成24年度 P T A 会務報告 (平成24年10月1日～平成25年3月31日)

1、第2回保護者面談 (3年) 10月16日 (火) ～10月19日 (金)

2、P T A 研修会・カリキュラム説明会 (研修委員会主催) 11月3日 (土)

【場所】本校視聴覚室

【研修会講演】

演題「足元の宝を生かして暮らしを楽しむ」

講師 松場登美さん (石見銀山生活文化研究所)

【カリキュラム説明会】

1・2年生保護者対象カリキュラム説明 (教務部主催)

3、第2回保護者面談 (1・2年) 12月20日 (木) ～12月27日 (木)

4、第2回常任理事会 2月23日 (土)

【議事】

(1) 平成24年度会務報告

(2) 各委員会活動報告

(3) 平成24年度 P T A 予算の執行状況について

(4) 平成25年度 P T A 関係の行事予定について

(5) 役員会の議案について

5、第2回役員会 2月23日 (土)

【報告】

(1) 松江東高校学校近況報告

(2) 平成24年度会務報告

(3) 各委員会活動報告

(4) 学校評価

【議事】

(1) 平成24年度 P T A 予算の執行状況について

(2) 平成25年度 P T A 関係の行事予定について

(3) その他

6、進路講演会 進学マナープラン説明会

【場所】本校視聴覚室

## 編集後記

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。それぞれの進路に進み、新たな生活を送られることでしょう。この東高での三年間の思い出を胸に、これから起こりうる試練や困難を乗り越えていってほしいと思います。一、二年生の皆さんには残りの東高生活を悔いなく過ごしてほしいと思います。この会報の発行にあたり、ご協力いただきました皆様ありがとうございます。

有田 美幸

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今は希望と不安で一杯でしょう。周りの人への感謝の気持ちを忘れず、どうぞ夢を持ち続けてください。

そして、もしもピンチがきたらその時こそチャンスに変える挑戦をしてください。後輩たちのお世話をしていただきありがとうございます。

最後になりましたが、先生方、会報にあたりご協力いただきました皆様、感謝申し上げます。

渡邊志津子

東高の壁沿いに我が家があります。一学期、部活の日以外は早くに帰宅していました。二学期、部活以外の日も、友達と勉強をしていたからと遅くなる日が多くなりました。

三学期、六時前に帰宅することは無く、七時過ぎることも。「遅かったのね」と話しかけても「はあくまあね」と返事があるだけましな方の日がほとんどです。

先輩母から、高校生になったら、すぐく落ち着いてグッと変わるよと言われていたけど、我が娘はまだ変化なしです。みなさま方のお子さんはどうですか？

あつという間の一年間でした。あと二年間どのように成長していくのか、ちょっと離れて見守りながら、楽しみたいです。

最後に、広報委員をさせていただいたお陰で、先生方やいろいろな保護者の方とお会いする機会をいただき (新宮先生手作りのお菓子も!) 感謝しています。ありがとうございます。

田坂 千秋

## 編集委員

松原 淳子

安達 修一

新宅 和枝

有田 美幸

渡邊志津子

田坂 千秋

服部 明奈

新宮美也子







〈表紙の絵〉 35 R 並河真太郎

〔Deep〕

〈題 字〉

P T A 会報 森脇 哲朗 (旧本校教員)

高山 上田久美子 (十三期生保護者)